



Kitsuki Shigikai  
Dayori

# きつき市議会だより

令和7年8月15日発行



市内中学校のサッカー一部は、部員数減少に伴い、  
宗近・山香合同部活動チームを経て、現在は  
地域クラブ「宗近・山香SC」として活動しています。

2025

8

No.77

# 令和7年度一般会計補正予算

2億795万6千円を追加  
補正後の予算は206億7,785万6千円

## 補正予算の主な事業

### 定額減税不足額給付金事業

(令和6年度に実施した、給付金の支給額に不足が生じる方を対象に追加で給付する経費) …… 1億876万円

### 共創モデル実証運行事業

(路線バスの最適な時刻の増便のための実証運行を行う経費) …… 3,085万6千円

### 病院事業会計繰出金

(きつき未来運動器医療講座(寄附講座)を開設する経費) …………… 2,000万円

### 物価高騰対策事業(給食費無償化)

(市立幼稚園や市内こども園など給食費を無償化するための経費) …… 1,103万1千円

### 物価高騰対策事業(省エネ家電製品等購入補助)

(省エネ性能の高い家電製品への買換えに対し、助成する経費) …………… 700万円

### 体育施設維持管理事業

(文化体育館の柔道畳を増設する経費) …………… 522万4千円

# 令和7年度 第2回定例会

## 6月議会の概要

会期は、6月9日から27日の19日間、令和7年度杵築市一般会計や公営企業会計の補正予算、条例案など13件、同意1件が上程され、審議の結果、すべて原案のとおり可決・同意しました。

## 主な議案

### 条例

杵築市議会議員及び杵築市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について

(立候補の環境を改善し、候補者間の選挙運動の機会均等を図るため、公職選挙法の規定に基づき条例を制定するもの)  
※制定に関しては、議会として要望書を提出してまいりました。詳しくは、前回発行第76号の18ページをご参照ください。

杵築市山香温泉風の郷条例の一部改正について

(物価高騰の中、利用料金の上限額を見直すなど、所要の改正を行うもの)

### 議員発議

ゆたかな学びの実現と教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担率2分の1復元をはかるための、2026年度政府予算に係る意見書

2025年度大分県最低賃金の改正等に関する意見書

杵築市議会の個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例

(「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」が改正されたことにより、所要の改正を行うもの)

# 議決結果表

※案件名は、一部省略し掲載しています。

番号	案 件 名	採決結果
〔市長提出議案〕		
61	令和7年度杵築市一般会計補正予算（第2号）	可決
62	令和7年度杵築市立山香病院事業会計補正予算（第1号）	可決
63	杵築市議会議員及び杵築市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について	可決
64	杵築市山香温泉風の郷条例の一部改正について	可決
65	財産の処分について	可決
〔市長追加提出議案〕		
66	令和7年度杵築市一般会計補正予算（第3号）	可決
67	令和7年度杵築市下水道事業会計補正予算（第1号）	可決
68	工事請負契約の締結について	可決
69	監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意
〔議員提出議案〕		
3	ゆたかな学びの実現と教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担率2分の1復元をはかるための、2026年度政府予算に係る意見書	可決
4	2025年度大分県最低賃金の改正等に関する意見書	可決
5	杵築市議会の個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例	可決
〔付議事件〕		
	閉会中各委員会の継続審査について	可決
	議員派遣について	可決

## 一般質問

令和7年第2回市議会定例会  
6月16日、17日、18日

13人の議員が、市政に関する諸問題について一般質問を行いました。

（一般質問した議員が原稿を作成し、基本的にその原稿を尊重して編集しています。通告書を基に作成しており、議員の判断で質問をしない場合もあります。）

質問者	質問の要旨
田原 祐二	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援の充実について</li> <li>不妊治療について</li> <li>フレイル予防について</li> <li>認知症対策の充実について</li> <li>人口減少の中での自治体の取り組みについて</li> </ul>
小春 稔	<ul style="list-style-type: none"> <li>農政対策について</li> <li>ふるさと納税の事業推進について</li> <li>杵築ブランド強化推進について</li> </ul>
田中 正治	<ul style="list-style-type: none"> <li>農林水産業振興について</li> </ul>
岩尾 育郎	<ul style="list-style-type: none"> <li>民生委員の処遇について</li> <li>少子化対策について</li> </ul>
堀 典義	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口流出防止について</li> <li>水産業の振興について</li> <li>地域公共交通について</li> </ul>
小野 義美	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業問題について</li> <li>山香病院について</li> </ul>
酒井 健太	<ul style="list-style-type: none"> <li>これからのまちづくりについて</li> </ul>
船尾はるな	<ul style="list-style-type: none"> <li>出産後に配られるゴミ袋について</li> <li>紙の健康保険証・資格確認書について</li> <li>杵築市における男女共同参画について</li> </ul>

質問者	質問の要旨
二宮健太郎	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通施策について</li> <li>道路の陥没について</li> <li>物価高騰対策について</li> <li>市営水道、下水道、公共施設使用料など、今後の負担増の予定と方針について</li> <li>市長の政治姿勢について</li> </ul>
坂本 哲知	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺地域の移動困難者支援について</li> <li>小規模特認校の活用について</li> <li>消滅可能性自治体からの脱却について</li> <li>物価高騰対策について</li> </ul>
真鍋 公博	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練について</li> <li>要配慮者について</li> <li>孤立集落について</li> <li>孤立死について</li> <li>上下水道について</li> </ul>
加来 喬	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難所の空調設備設置について</li> <li>学級費の用途について</li> <li>学びの多様化学校について</li> <li>生活保護基準の見直しについて</li> <li>米の増産と再生産可能な米価について</li> </ul>
藤本 治郎	<ul style="list-style-type: none"> <li>買い物弱者支援について</li> <li>未来戦略推進プランについて</li> </ul>

**一般質問の動画を公開しています**（杵築市議会 YouTube チャンネル）

スマートフォンやタブレットで二次元コードを読み取ると一般質問の動画をご覧いただけます。



# 一般質問 Q&A



〈公明党〉  
たはら ゆうじ  
田原 祐二議員

## 子育て支援の充実について

**議員** 市への子育て支援に関する質問や要望にはどのようなものがあるのか。

**福祉事務所長** 保育所などの入所や児童手当の支給、ひとり親の支援など、多岐にわたっている。特に、保育所などの入所や病児保育、シヨートステイ事業など、こどもの預かり事業については、多くの問い合わせがある。

**議員** 週1回消耗品を届ける事業を行っている県内の市町村もあるが、この事業は本市では行っていないと聞いている。実情はどうなっているのか。また、他市の状況を踏まえて本市でもこれらの事業を前向きに取り組まないか。

**福祉事務所長** 本市では、令和2年度から支援を必要とする児童やその家族に対して、自宅を訪問し、食材又は弁当の提供とともに、家庭の状況把握を行う「お届け見守り事業」を実施している。消耗品は選択できないが、ひとり親家庭を対象に月1回、食材料品の他に消耗品などを自

宅にお届けする「こども宅食つばさ便事業」もある。対象の方に合わせて、必要なサービスを提供できるよう、相談に丁寧に対応して提案をしている。

**議員** 県下の他市町村と子育て支援に関する意見交換は行っているのか。

**福祉事務所長** 市町村子育て支援・母子保健担当課長会議が県主催で毎年開催されている。会議では、県の子育て支援施策の情報共有や他市町村の子育て支援に関する取り組み状況などについて意見交換を行っている。今後も会議を通じて、現在実施している事業のブラッシュアップを行うとともに、新規事業については全庁的に検討を重ね、子育て支援の政策に反映できるよう努めたい。

**議員** 今後もより充実した子育て支援を行い、子育て世代から要望があれば、前向きに取り組んでもらいたい。

## その他の質問

- ・不妊治療について
- ・フレイル予防について
- ・認知症対策の充実について
- ・人口減少の中での自治体の取り組みについて





〈市民クラブ〉  
こはる 小春 小春 小春  
みどり 稔 議員

### 農政対策について

**議員** 園芸団地構想の農地力  
ルテについて。

**農林水産課長** 過去に農地造成  
を行った農地整備済地区などの  
うち、未利用農地などを対象に  
農地の位置や広さ、所有者の情  
報、水源、耕作道の有無など園  
芸団地に適した土地であるかど  
うかをまとめた「農地カルテ」  
については市内では現在まで5  
地区が策定済みとなっている。

**議員** 実現に向けての今後の  
取り組み計画について。

**農林水産課長** 取り組みを推進  
するため、副市長を本部長とす  
る「杵築市農業成長産業化推進  
本部」を令和6年10月に設置し  
ている。担当者レベルでの会議  
をすでに開催しており、今後市  
の推進本部会議において市とし  
ての大規模園芸団地化プランを  
関係機関と協議し、策定を行う  
予定。

### ふるさと納税の事業推進につ いて

**議員** ふるさと納税の現在の

応援基金残高について。

**財政課長** 令和6年度の充当事  
業数と金額は、高校生までの医  
療費無償化事業など34事業に約  
4億4,750万円を充当した。  
令和6年度末の基金現在高見込  
みは、4億1,200万円となっ  
ている。

**議員** ふるさと納税の今年の  
目標額達成に向けての方策につ  
いて。

**商工観光課長** 今年度は、9億  
円を目標としている。ほとんど  
がインターネットからの申し込  
みであるため、現在のこのネット  
内のポータルサイト数を増やす  
ことを計画している。寄附金の  
使い道の情報発信を行い、多く  
の方から共感を得られるように  
努めることで、寄附者の数も増  
やしていこうと考えている。

**議員** ふるさと納税の返礼品  
に特化した生産農家の育成につ  
いて。

**商工観光課長** 本市としても寄  
附金額の増加を目指すためにも、  
生産農家の育成に農林水産課や  
関係団体と連携した取り組みを  
検討していきたいと考えている。



## KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



〈市民クラブ〉  
たなか しょうじ 田中 正治 議員

### 農林水産振興について

**議員** 生産部会を設置してい  
る数はいくつあるのか。また、  
市が関係している部会は。

**農林水産課長** 生産品目ごと  
に組織されている部会の数は、31  
部会。市が事務を担っている部  
会は畜産関連の3部会であり、  
その他は、生産者組織が直接部  
会の運営にあたっている。

**議員** 国や県、市などから功  
績のあった方や団体などは何人  
いるのか。

**農林水産課長** 長年にわたり農  
林水産業に従事し、その功績に  
対し、国や県、市から表彰を受  
けられた方は多数いる。令和元  
年以降の6年間の被表彰者数は  
農業部門で19人、林業部門で2  
人、水産業部門で1人の22人で、  
同一人が年度や複数の異なる表  
彰を受けている場合もある。令  
和以前、功績を残し表彰された  
方も数多くいる。

**議員** 功労、功績の申請はど  
こが行っているのか。

**農林水産課長** 農林水産業の功  
績に対する被表彰者の推薦は、

当課で行っている。功績調書な  
どの作成については、関係団体  
などにも協力をいただき申請し  
ている。

**議員** 功績のあった方々や団  
体などから、市は生産技術力向  
上の講習会や指導会などの研修  
会を実施しているのか。

**農林水産課長** 長年かけて培つ  
た栽培技術や飼養方法など、地  
域や次世代へ継承していくこと  
は、産地の維持拡大を図る上で  
貴重なものと考えている。部門  
別、品目ごとの生産組織がしつ  
かり機能しているため、部会な  
どで生産現場を訪問し、研修を  
開催していると聞いている。

**議員** 課題である高齢者対策、  
後継者不足、労働力不足など今  
後の対策と将来の振興対策につ  
いての取り組みは。

**農林水産課長** 本市の基幹産業  
として重要認識し、今年度から  
の第3次杵築市総合計画に基づ  
き戦略的な振興に取り組み。新  
規就業者支援強化、多様な担い  
手の参入促進、スマート技術の  
導入支援による担い手の確保と  
労働者不足の解消を目指し、所  
得と生産性向上を図る。





〈新風会〉  
いわお いくお  
岩尾 育郎議員

### 少子化対策について

**議員** 合併後の出生数について。

**福祉事務所長** 平成17年度末が262人、平成27年度末が222人、令和2年度末が144人、令和5年度末が107人、令和6年度末が84人となっている。

**議員** 山香地域では2年続けて9人しか生まれていない。今、山香小は全校で180人いるが、このままでは10年後は50人くらいになってしまう。また今年の小学1年生は全体で183人いたが、生まれたのは84人で、6年間で100人減となっている。このような大事な情報が、市民はもろろん議会にすら入ってこないというのはどういうことか。

**市長** 真剣に取り組んでいるつもりだが、情報の伝わり方が不十分だったとすれば改善していきたい。

**議員** 少子化対策として市内の若い夫婦・独身者に対してアンケート調査を行い、どのようなニーズがあるのかを把握する

必要があると考えるが。

**市長** 国全体でそういう意向調査を行っている、国やシンクタンクで検討されている。杵築だけの小さなところで調査するというのはあまり意味がないと思う。

**議員** 市長とも思えない答弁だ。杵築市の状況がわからず全国一律の形でやって、それで杵築独自の取り組みなどできるわけがない。市長をはじめ、執行部から少子化に対する危機感といったものが全く感じられない。本当に真剣に取り組む気があるのか。

**市長** この間、国から急に交付金があったので、子育て支援に使えればと考えている。

**議員** 今から対策をゆっくり考えるといった悠長なレベルではない状況にあることを認識してもらいたい。それぞれの課長が自分の持ち場で、何か少子化対策に貢献できる仕事があるのではないかと意識を常に持って、市の運営を考えてもらいたい。

### その他の質問

・民生委員の処遇改善について



## KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



〈平和一支部〉  
ほり のりよし  
堀 典義議員

### 地域公共交通について

**議員** 利用状況は。

**協働のまちづくり課長** JRは大きな変化はないが、コミュニティバス、乗合タクシーとも減少している。

**議員** 地域交通の課題は。

**協働のまちづくり課長** 運転免許返納者の増加に備え移動手段の確保、バス運行時間など地域の実情に沿った柔軟な運行体系の構築、地域公共交通の事業者が撤退しないように、持続可能性の確保である。

### 移動・外出困難者対策について

**議員** 今後の取り組みは。

**協働のまちづくり課長** 通院や買い物、地域活動への参加など、日常生活を支える移動手段の確保が重要である。また現在のコミュニティバスから乗合タクシーへの転換についても調査・検討を行う。

### 定額利用デマンドタクシーについて

**議員** 過日、多くの地方自治体と連携し配車システムを構築している事業所を訪問した。そ

の一つの島根県大田市温泉津町井田地区は、地域住民が月額3,300円を払えば、1か月間何度でもタクシーが利用できるという定額料金制で、井田地区内や町の中心部にある駅など、日常生活に必要な主要施設を対象に、平日の午前8時半から午後4時半まで運行している。本市の交通弱者対策や交通不便地域対策に生かせないか。

**協働のまちづくり課長** 先進的な取り組みであり、制度の詳細や運用実態を把握するため、情報収集を進めたい。

**議員** 健康で生き生きとした生活確保のため、市民の外出機会を創出する移動支援について所見を伺う。

**市長** 本市の地域の交通課題を解決し、しかも市民の外出機会を確保することは、健康寿命日本一を目指す上で欠かせない施策である。地域住民の皆様や交通事業者との連携のもと、より効果的な移動支援について調査したい。

### その他の質問

・人口減少対策として、八坂地区から中心市街地に向けた人口集積地域の構築について  
・水産業の振興としてのアサリ復活プロジェクトの取り組みについて





〈市民クラブ〉  
おの よしみ  
小野 義美議員

### 農業問題について

**議員** 今年の水稲作付面積（昨年比）は。

**農林水産課長** 令和7年5月末時点、主食用米約957ha（約10haの減）。新規需要米約208ha（約24haの減）である。

**議員** 令和6年台風10号による水田、水路の被害状況は。

**建設課長** 市内全域で水田143件の17.85ha、水路119件である。

**議員** 令和7年度復旧工事完成の計画は無理だが、直接営農にかかる箇所から取り組んでほしい。

### 山香病院について

**議員** 現在の常勤医師の人数は。

**市立山香病院事務長** 16人体制で昨年度比5人増。長年の念願であった整形外科医が常勤となった。

**議員** 整形外科手術の実績と導入のメリットは。

**市立山香病院事務長** 5月から手術を開始し、1か月で9件。今まではリハビリ目的の紹介入院であったが、今後は手術・リハビリと一貫し、経営面での貢

献度は極めて大きい。

**議員** 医療Maas車両の活動実績は。

**市立山香病院事務長** 出前講座17回。そのうち、3回はオンライン診療。今後多くの予約が入っている。

### 病院の今後について

**議員** 10年ほど前に在り方検討委員会が開催されたが、その経緯について。

**医療介護連携課長** 平成28年8月に設置され、平成30年2月に市長に答申した。

**議員** 委員会のまとめは。

**医療介護連携課長** 病院の建て替えは必要だが建築市場、財政状況などで令和2年を目安として、当分の間事業を見合わせる必要がある。その間持続可能性の高い病院運営を、と答申書にまとめられている。

**議員** 小野院長なしでは現在はないかと思う。ぜひとも再任を。

**市長** 卓越した経営手腕は、余人をもって代えがたい存在であり、再任に向けて前向きに協議する。

**議員** 地域医療は地域にあってこそ、その機能が発揮できる。山香病院の建て替えの構想について。

**市長** 山香、大田地域には病院機能が必要と考え、内部検討会を開催している。



## KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



〈新生きつき〉  
さかい けんた  
酒井 健太議員

### 地域おこし協力隊について

**議員** 地域おこし協力隊が4人いるが、その配置状況は。

**協働のまちづくり課長** 移住定住支援活動が3人、地域の魅力発信活動（SNSなどの広報活動）が1人となっている。

**議員** 地域おこし協力隊を新たに採用する上で、ビジネスコンテストのようにやってみようか。何かコンセプトを掲げ、ブローカー方式で行えば革新的な地域おこしが生まれると考え

る。

### 水産業について

**議員** 稚魚の放流について調査研究はしっかりと行っているのか。また今後の水産業の振興についてどう考えているのか。

**農林水産課長** 漁協を通じ、毎月データをもらって効果を調べている。令和6年度はマナマコ種苗確保の新たな手法として、カキ殻を使用した着定基質の導入を検討。今後も地域の漁業者と連携しながら、科学的知見に

基づいた持続可能な放流事業を推進する。

**議員** どうか豊かな海が取り戻せるように予算を惜しまず、漁業の新たな取り組みに一石を投じてほしい。

### こども誰でも通園制度について

**議員** こども誰でも通園制度について、本市の取り組みは。

**福祉事務所長** 現在開始に向け、事業所の認可など手続きを進めている。

### 病児保育について

**議員** 病児保育について、「普段預けている園で実施してくれたら嬉しい」「予約や医師の診断などに時間がかかる」などの声をよく聞くが、本市として何か改善ができないか。

**福祉事務所長** 国の実施要綱で定められている部分が多くある。今後も市内のこども園と調査研究していかなければならない。

**議員** これからのまちづくりのターゲットは若い人である。まず全ての計画の中心を、未来に、若者に、持っていくてもらいたい。





〈市民と歩む会〉  
ふなお  
船尾はるな議員

保険証の有効期限が切れることについて

**議員** 世田谷区・渋谷区のようにマイナ保険証の有無に関わらず、後期高齢者医療保険と同じように全員に「資格確認書」を送付できないか。

**市民生活課長** 制度改正に伴いマイナ登録の有無を識別できるシステム改修を行った。マイナ保険証を持っている方・持っていない方それぞれに「資格確認書」「資格通知書（資格情報のお知らせ）」を送付するため、全員に「資格確認書」の送付は行わない。

**議員** 東京のような混乱がないと知り安心した。マイナ保険証は任意のものであり、不安のため登録解除する人は今年に入ってから全国で毎月1万人以上いる。他の自治体のように登録解除についても市で案内するよう要望する。

〈樺築市男女共同参画プランについて〉

**議員** 第一次の目標は達成できているのか。また振り返りを行っているのか。

**人権啓発・部落差別解消推進課長** 第二次に向けて準備を進めている。

る。今年度中に公表する。

**議員** 2006年に条例、2013年に第一次のプランができていて、5年間の計画となっているが、もう2025年である。各課が計画をたてた施策を意識して行ってきたのか。

**人権啓発・部落差別解消推進課長** 第二次プラン策定作業の中で確認する。

**議員** 計画は期間を空けるのではなく継続し、外部のチェックも必要と考える。新聞社のアンケートによると、性別などの偏見により都市へ出ていく女性が、男性に比べ倍以上多いことがわかっていて、市は率先してジェンダーギャップの解消に努めるべきと考える。まずは女性管理職の割合の目標を高く設定してもらいたい。

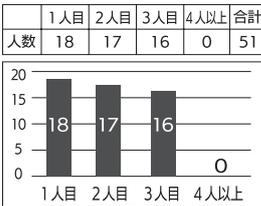
その他の質問

・出産後に配られるゴミ袋を、布オムツかどちらか選べるようにできないかということについて

出生届時に布オムツ希望の有無のアンケート調査

(令和6年7月～令和7年1月)

〈第何子〉



〈布オムツ希望の有無〉

布希望	ゴミ袋希望	合計
8	43	51



KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



〈新生ぎつき〉  
にのみやけんたろう  
二宮健太郎議員

交通施策について

**議員** 市の高齢運転者に対する、現在の運転免許自主返納支援事業は70歳以上の市民に対して民間やコミュニティバスで使える回数券を1回に限り交付しているとのことだが、継続して交付できないものか。

**危機管理課長** 免許返納者だけではなく、移動困難者の支援も必要となるため、他部署と連携して調査、検討したい。

道路の陥没について

**議員** 最近、特に市道の陥没や損傷が目立っている。早めに対処できないか。

**建設課長** 目視を中心に樺築地域は建設課が、山香・大田地域は委託業務受託者がパトロールを実施している。今後は全職員に対し、道路の異常に関する情報提供を積極的に求めている。AI技術やDX化など他市の取り組みを参考に調査研究を進める。

**議員** 市民の声を集めやすい

サイトをぜひ作成し、道路危険箇所の情報共有に努めてもらい早期修繕できるように強く要望する。

市長の政治姿勢について

**議員** 緊急財政対策により財政危機は回避できたのか。市民に我慢してもらった市民サービスは元に戻せるのか。

**市長** 財政状況は好転した。今は、大きな事業が出てきた時のための基礎体力づくりを行っている。

**議員** あらゆる市民サービスを廃止させ財政対策が成功したのにサービスを戻さず、ずるずると市政を執行している現状に対して、いかがなものかと考える。また、企業誘致についても、もっとトップセールスをして企業に来てもらえる体制づくりを積極的に進めなければ成果は出ない。

その他の質問

・物価高騰対策について  
・市営水道、下水道、公共施設使用料など、今後の負担増の予定と方針について





〈令和会〉  
さかもと かつひこ  
坂本 哲知議員

### 小規模特認校の活用について

**議員** 不登校児童の現状は。

**学校教育課長** 小学校における

不登校について、過去3年間の推移は、令和4年度14人、令和5年度11人、令和6年度25人である。

**議員** 不登校の原因は把握しているか。

**学校教育課長** 令和6年度杵築市の調査結果では、「家庭に係る状況」が41%と最も多い要因で、中でも「生活リズムの不調」の相談が多く23件（小学校8件）の報告があった。次に、「本人に係る状況」が36%。具体的には「やる気がでない」11件（小学校8件）、「不安・抑うつ」10件（小学校4件）などの相談が報告されている。「学校に係る状況」が23%で、「いじめを除く友人関係」10件（小学校3件）などの相談となっている。このような結果を受け、令和7年度から新たに登校支援員を小学校1校に配置して対応しているところである。

**議員** 小規模特認校の有効活用は。

**学校教育課長** 小規模特認校とは、通学区域にとらわれることなく、特定の教育方針や教育環境を希望する児童・生徒が就学

できる制度である。本市では、令和3年4月から、少人数での教育の良さを生かして、生きる力や豊かな人間性を育むことを目的に「小規模特認校就学制度」を設け、大田小学校を小規模特認校に指定した。大田の豊かな自然、地域に密着した教育環境、特に、「田植え、稲刈り」「芋植え」「椎茸栽培」「ブルーベリー収穫体験」「どぶろく祭り参加」「国際交流」といった大田小学校ならではの「ふるさと学習」を通じて、学校と地域が一体となり、子どもたちが健やかに、また大きく成長していると実感している。

**議員** 学校環境を変えることで少しは改善するのではないかと。と思う。ぜひ、大田の豊かな自然の中で地域に密着した教育環境をさらにPRしてほしい。

### 物価高騰対策について

**議員** 米不足だが、学校給食への数量は確保されているのか。

**教育総務課長** 米飯は、大分県学校給食会と契約をしていること、年間数量は確保できていることを確認している。

### その他の質問

- ・ 周辺地域の移動困難者支援について
- ・ 消滅可能性自治体からの脱却について



## KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



〈令和会〉  
まなへ きみひろ  
真鍋 公博議員

### 避難訓練について

**議員** 風水害避難訓練の今後の課題は。

**危機管理課長** スムーズに避難ができるためには訓練を重ねていくことが重要。多くの方に参加してもらえよう工夫し、防災・減災の意識の醸成を図っていく。

### 要配慮者について

**議員** 高齢者、障がい者、乳幼児その他の特に配慮を要する「要配慮者」に関する情報を提供・共有する関係者に、区長や防災士など、範囲を拡げることとはできないか。

**福祉事務所長** 危機管理課など関係課とも協議し、災害時に多くの方々にも協力してもらえよう取り組んでいきたい。

### 孤立集落について

**議員** 市内には孤立する可能性のある集落が87集落あるそうだが、集落、行政区にはどのように周知していくのか。

**福祉事務所長** 県、通信事業者や建設事業者などと連携して、対策がまとまり次第、孤立可能性集落を含む行政区に対策などを含めて周知したい。

**議員** 市内の高齢化率はどう

なっているのか。

**福祉事務所長** 令和7年4月1日時点で、杵築地域36.04%、山香地域48.97%、大田地域55.99%、市全域は39.59%。（総人口26,033人、うち高齢者人口10,306人）

**議員** ひとり暮らしや高齢者のみの世帯などの高齢者世帯数は。

**福祉事務所長** 令和7年4月1日時点で、高齢者世帯の数は3,642世帯で、市全体の世帯数（13,112世帯）の27.8%。

**議員** 向こう三軒両隣。高齢化、高齢者世帯などは、ますます深刻化すると思われるが、基本としてはどう考えているのか。

**福祉事務所長** 日常的につながらのある周辺の方々の声掛け、見守りが重要な防止策。日頃から地域の中での交流も防止策の一つになるので、週一通いの場や高齢者サロンを推進し、集える場を増やしていく。

### 上下水道について

**議員** 上下水道は、最も大切なライフラインのひとつ。上下水道の改修改善計画はどうなっているのか。

**上下水道課長** 工事中の杵築浄水場更新工事は、令和8年度末の完成予定。管路については、老朽化の度合いに合わせて、重要管路や漏水発生確率の高い管路などを国の補助金・交付金を活用して、優先的に更新、耐震化を行っていく。





〈日本共産党〉  
かく たかし  
加来 喬議員

### 避難所の空調設備設置について

**議員** 昨年の9月議会で、体育館の空調設備設置について取り上げ、別府市では国の補助金を使って整備が進んでいることを紹介し、杵築市でも整備すべきではと質問し、「何らかの対応が必要」との答弁があった。いつ体育館の空調を整備するのか。

**危機管理課長** 近年の猛暑により、避難場所に指定されている体育館の環境整備は重要な課題となっている。今後、有利な補助金を活用し、本市の実情に合わせた整備を関係課と協議し、進めていきたい。

**議員** 来年度、予算を組むのか。

**危機管理課長** 具体的な予定はまだないが、有利な補助金などがあれば財政課などと協議して具体的な日程を決めていきたい。

### 自治公民館の空調設備の補助金について

**議員** ある区長から、公民館の空調設置の補助金はないかという相談を受けた。避難所に指定されている自治公民館の壁掛けの空調設備を補助対象にできないか。

**社会教育課長** 天井に埋め込む大型の空調設備は補助対象だが、壁掛け型のルームエアコンは補助対象としていない。県内ではルームエアコンを補助対象としている自治体もあるので、そういったところを見ながら進めていきたい。

**議員** 早急に補助対象にするように検討を求める。



〈新風会〉  
ふじもと しろ  
藤本 治郎議員

### 買い物弱者の支援について

**議員** 買い物弱者の現状は。福祉事務所長 買い物で困っている方は市全体で4.3%（令和5年3月時点）。配偶者や親族に買い物支援を受けている。

**議員** 梶ヶ浜区での共創モデル実証運行事業の検証は。協働のまちづくり課長 高齢化率73.7%の梶ヶ浜区、外出できない環境をつくるために総事業費1,909万3千円で実施、2か月で実証期間28日間、延べ130人が利用、コミュニティバスの利用者も1日平均3.5人から8人と増えた。

**議員** 杵築地区の買い物弱者の状況は。福祉事務所長 地区内の4.8%で400人弱、体力の低下により重い荷物を持つことが困難なことから、社会福祉協議会が移動販売を実施。令和6年度は年間223日・1日平均48人が利用。

**議員** 買い物弱者対策の先進

地、長野県伊那市はドローンでの配達を始め様々な施策に取り組んでいる。買い物支援というよりも移動支援のため、福祉有償運送などを実施し、生活の質向上に取り組んでいる。杵築市も見習うべきではないか。

### 未来戦略プランについて

**議員** 財政難になった理由と人件費をいくら削減できたのか。財政課長 公債費の増加と事務事業に伴う職員の増員、一部事務組合の負担金の増加の中、交付金の縮減のため、人件費で総額約2億5,000万円削減。

**議員** 市長は「まだやりかけた仕事がある」と言うが何をしたいのか。市長 医療費や介護費の増大、人手不足、インフラ整備などをやり遂げたい。

**議員** 福祉事業ももちろん大切だが、今、杵築市においては地場産業の振興で活気を取り戻す努力をすべきである。

### その他

議員になり休まず50回、約190回ほど一般質問をさせていただき、新たな挑戦に向かい8月で議員辞職します。支えてくれた市民の皆様様に感謝を申し上げます。



## 請願・陳情第8号

付託委員会 産業建設常任委員会  
請願者 竜船区



### 農道竹松線・竜船一住床線の市道編入について



#### [内容]

近年農業用だけでなく、通勤路や散歩など地域に密着した生活道路としての役割も多くなっていることから、市道への編入を要望するもの。

## 請願・陳情第6号

付託委員会 厚生文教常任委員会  
陳情者 上地区区長会、  
上地区住民自治協議会、上村の郷、  
JA山香女性部、南部施設利用組合



### 杵築市墓地、納骨堂、火葬場の経営に関する条例の改正を求める陳情

#### [内容]

杵築市墓地、納骨堂、火葬場の経営に関する条例を改正し、「埋葬は焼骨とする」旨の明記を要望するもの。

## 請願・陳情第9号

付託委員会 厚生文教常任委員会  
請願者 杵築市弓道連盟



### 市営山香弓道場のトイレ水洗化について



#### [内容]

昭和62年設置以来未整備のため、水洗化を要望するもの。

## 請願・陳情第7号

付託委員会 産業建設常任委員会  
請願者 貫井区



### 貫井区内の里道の市道編入について



#### [内容]

近隣世帯で共有している里道について、インフラ整備の観点などから市道への編入を要望するもの。



## 第22回議員研修会を開催



**日時** 令和7年6月9日(月)  
**場所** 議事堂 議場  
**講師** 大分県人権問題講師団 松縄 英孝氏

第2回定例会開会日の本会議終了後、「優生思想と人権……～身近な人権問題から～」をテーマに、研修を行いました。松縄氏には、選択制夫婦別姓制度や旧優生保護法などの問題を考え、人権が尊重される社会をつくりあげるために必要なことなどについて、ご講演いただきました。

## 監査委員辞令交付



令和7年第2回定例会において加来喬議員が監査委員に選任されたことに伴い、7月1日、市長から辞令の交付を受けました。任期は令和9年4月25日まで。

#### 加来喬議員コメント

6月議会で議員各位の賛同をいただき、監査委員に就任しました。議会代表であることはもとより、市民代表として、財政規律に基づき適正な事務執行が行われているかなど、きちんとチェックしてまいります。

# 議員勤続表彰

全国市議会議長会第101回定期総会(5月20日東京都にて開催)において、渡辺雄爾議員が在職20年、田中正治議員、堀典義議員、泥谷修議員、田原祐二議員、阿部素也議員が在職10年の勤続表彰を受けました。



## 渡辺 雄爾 議員

初当選年月・当選回数  
平成15年4月・6回

議員経歴  
市議会議長

現在

- ・厚生文教常任委員会副委員長
- ・議会活性化委員会委員
- ・別杵速見地域広域市町村圏事務組合議会議員



## 田中 正治 議員

初当選年月・当選回数  
平成27年4月・3回

議員経歴  
市議会副議長

現在

- ・厚生文教常任委員会委員
- ・議会活性化委員会副委員長
- ・別杵速見地域広域市町村圏事務組合議会議員



## 堀 典義 議員

初当選年月・当選回数  
平成27年4月・3回

議員経歴  
市議会議長

現在

- ・産業建設常任委員会委員
- ・議会運営委員会委員長
- ・議会活性化委員会委員
- ・杵築速見環境浄化組合議会議員



## 泥谷 修 議員

初当選年月・当選回数  
平成27年4月・3回

議員経歴  
市議会議長

現在

- ・総務常任委員会委員
- ・大分県後期高齢者医療広域連合議会議員



## 田原 祐二 議員

初当選年月・当選回数  
平成27年4月・3回

議員経歴  
市議会副議長

現在

- ・総務常任委員会委員
- ・議会運営委員会委員
- ・議会活性化委員会委員長
- ・杵築速見消防組合議会議員



## 阿部 素也 議員

初当選年月・当選回数  
平成27年4月・3回

議員経歴  
市議会副議長

現在

- ・総務常任委員会副委員長
- ・広報広聴委員会委員
- ・杵築速見環境浄化組合議会議員



# 令和7年 第3回定例会日程 (案)

※正式な日程は議会運営委員会で決定します。

8月26日(火)	開会	9月8日(月)	決算特別委員会(厚生文教)
9月1日(月)	一般質問	9月9日(火)	決算特別委員会(産業建設)
9月2日(火)	一般質問	9月11日(木)	産業建設常任委員会
9月3日(水)	一般質問	9月12日(金)	厚生文教常任委員会
9月4日(木)	一般質問(予備日)	9月16日(火)	総務常任委員会
9月5日(金)	決算特別委員会(総務)	9月19日(金)	閉会

一般質問の再放送は、一般質問が行われた週の土日に放映される予定です。

広報広聴委員 船尾はるな

昨年年度の杵築市内における新生児の出生数が84人と知って、多くの議員が驚きと焦りを感じたと思います。勿論、年々減少していき人口に対して危機感を持つ人が増えましたが、出生数が100人を超えたと、一層厳しく受け止めたのではないのでしょうか。議員それぞれが課題に感じ、一般質問などで意見を述べています。10年後、20年後、様々な職種の担い手をどう確保しているのか、今ですら人が足りていない分野は数多くあります。そのため対話を市民の皆さんと一緒に進めていければと願っています。広報広聴委員会の中では、市民の皆さんに、本誌をいかに読んでもらえるかという点について議論を交わしています。顔とも言える表紙については、人物を掲載したい、でもそのためにはルールが必要なんじゃないか、など、丁寧な話し合いをしました。まずは本誌を手にとってもらって、さらにケーブルテレビやYouTubeで議会中継を見る、また、実際議場に足を運んでの傍聴や、議会に対してご意見を気軽に言ってもらえるような、そんな市議会になればと思います。最後にあります、夏の時期は毎年災害を心配するようになり、昨年の復旧もままならない場所も多くあります。皆さまで、ご自分の命を一番最優先に、気を付けてお過ごしください。

編集後記

